

(様式)

# 経営改善計画書

令和 4年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日

法人名 住 所 由利本荘市矢島町城内字花立 60

名 称 株式会社鳥海高原ユースパーク

代表者名 植村 清一

## 1. 会社の沿革

名 称	株式会社鳥海高原ユースパーク		電話番号	(0184) 55-2929		
設立年月日	平成 4 年 5 月 29 日		メールアドレス	yp552929@youthpark.jp		
資本金	60,000 千円	市出資金	50,250 千円	市出資割合	83.8%	
役員数	取締役	8 名	監査役	2 名	株主総数	39 名
従業員数	正社員	8 名	嘱託社員	0 名	パート社員等	6 名
事業内容	1. 宿泊施設（貸別荘）の経営 2. 飲食、喫茶店の経営 3. ジャージー乳製品の製造並びに販売 3. 前各号に付帯関連する一切の事業					

## 2. 組織図

(別 紙 - 1)

## 3. 財務諸表

### (ア) 貸借対照表

(千円)

項 目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	年度
総資産	31,208	32,000	34,000	35,000	
(うち現金預金)	4,055	5,000	7,000	7,500	
総負債	32,928	32,500	32,000	31,000	
(うち借入金)	27,200	27,000	27,000	25,500	
純資産	△1,720	△500	2,000	4,000	
(うち利益剰余金)	△61,720	△62,376	△61,278	△59,576	

### (イ) 損益計算書

(千円)

項 目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	年度
売上高	71,480	74,756	80,000	83,000	
販売管理費	35,098	34,539	38,277	39,167	
(うち人件費)	17,863	17,232	18,721	19,247	
(指定管理料)	6,563	7,321	7,613	7,613	
経常損益	△626	△1,024	1,292	1,896	
当期損益	△810	△656	1,098	1,702	

※詳細は (別紙資料 - 2)

## 4. 経営改善にあたっての基本方針

- ・ ジャージー乳製品の PR 活動の強化  
量販店や学校給食への供給拡大及び安定化を目指し、積極的な営業活動を行う。
- ・ ミルジー号での販売拡大・鳥海ダム建設に伴う工事関係者への乳製品販路開拓。

高利益率部門の強化の推進。主力商品ソフトクリームの販売拡大を行う。

・営業基盤の強化

営業体制を強化して、新規顧客の獲得及び既存顧客からの受注増加を目指し売上高の維持、拡大を図る。

・新商品の開発

ジャージーのブランドを生かし、他製品との差別化を図る。

県内外、各地域の特産品との組み合わせによる新商品開発を行い商品化を目指す。

・ネット販売による新規顧客の拡大（現在商談進行中）

5. 計画期間

令和4年 4月 1日 ～ 7年 3月 31日

6. 経営目標

目標売上高	令和4年度4.6%、令和5年度7.0%、令和6年度3.8%、最終年度には売上額を83,000千円とする。
目標経常利益	徹底した経費削減を図り、最終年度の経常損益計画を1,896千円に設定とする。
人件費等経常経費の削減	専門の営業職の採用が是非とも必要であるが、製造等業務については極力、正社員を採用しないでパートで対応する
累積損失の解消	大きな累積損失を抱えており、短期での解消は困難な状況にあります。売上高重視から利益金確保に重点を置き早期の解消にむけて今後とも利益確保に努めて参ります。
その他	・経営悪化状態の解消時期については、令和5年度以降1,000千円程計上し、累積赤字の減少を目指していきます。 ・長期貸付については、令和5年度短期貸付から長期貸付に転換し、令和6年度から毎年1,500千円ずつ返済し、借入金の完済を目指します。

7. 改善計画の具体的施策

(ア) 経営の現状（問題点）と改善計画

項目	現状（問題点）	改善計画
事業効果の薄れたもの、不採算部門の整理統合	観光関連の不採算部門から撤退し、乳製品製造販売を中心とした経営形態にシフトしたものの、依然として経営改善が図られていない。	事業効果の薄れた部門は整理済であるため、現状の部門で収益確保に努める。
指定管理料に頼ることのない自立経営	消費税等の特殊要因を除き、指定管理料は平成19年から据置きとなっているが、人件費(最低賃金引上)等経費の上昇があるため、実質	市からの借入金を返済することに全力を注ぎながら、将来的には自立経営を実現したい。

	的にはマイナスになっている。	
内部評価等事務事業の見直し	人員配置を最小にしており、従業員は兼職兼務での就労状況にある。	経費削減の一環として増員は考えていない。従業員の能力向上を図る。
組織形態の見直し、従業員の適正配置	人員不足の個所にはパートの活用で対応している。	各業務に必要な人員数やスキルを把握し、従業員の能力にあった効率的な人員配置を行う。
職務権限、責任の明確化	毎週1回の社員会議を開催し、責任の明確化を図っている。	個々の役割を意識し、責任をもって業務を遂行する。
人事・給与制度の見直し	年1回の定期昇給を行っているが一般的に給与が低い。	成果主義の導入を図りながら待遇改善を図りたい。
職員研修の実施	保健所等、食品衛生講習会への参加。	講習会への積極的な参加。
移動販売車（ミルジー号）での収益確保	市より貸与の移動販売車を自損事故により破損させ、現在は走行不能な状況となっている。このため令和4年度は移動販売を行うことができない。また、車両の損害賠償についても解決していない。	市の方針に従い車両の損害賠償を行ったうえで、弊社で新たな移動販売車をリースし、今後の収益確保に努める。
情報公開の推進	会社ホームページ、SNS等の公開。	ホームページ、SNSにより情報発信の強化を行い、ネット販売を推進する。

(イ) 点検評価による現状（問題点）と改善計画

項目	現状（問題点）	改善計画
収益性	原材料、包材、光熱水費等の値上がりによる高騰は収益性を大きく圧迫している。	値上がり部分を考慮して10%～15%を商品価格へ転化していく。
健全性	現在は債務超過となっており健全性について大きな問題が生じている。	多額な累積を短期に解消する手段は見受けられず経営改善計画書に示した施策を実行しながら改善に努めていく。
成長性	HACCP 認証工場として安心安全な製品作りが保証され、また新商品の開発など新規取引先の開発が期待できる。	地域特産品のジャージー乳製品のこだわりをもち、他社製品との差別化を図りながら広くPRしていきジャージーブランドを確立していく。
効率性	生鮮商品のため、消費期限・賞味期限が短い。	コスト単価が見合う取引先の選定。